

## 1. 京都府緑と文化の基金（地域環境保全分）の残高等

		金額（単位:円）	備考
①	基金総額（前年度末基金残高）	320,000,000	
	内訳	うち、国費相当額	160,000,000
		うち、地方負担相当額	160,000,000
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	15,983	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額（処分額）	40,015,983	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	280,000,000	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	140,000,000
		うち、地方負担相当額	140,000,000
		うち、負担附寄附金等	0

## 2. 保有割合

次年度の基金類型	取崩型	金額（単位:円）	備考
⑧	基金残高	280,000,000	
⑨	事業費（次年度から終了年度までの見込額）	280,000,000	
⑩	保有割合	1	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠  
 運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）  
 取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）

## 3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	環境保全府民運動推進事業	45,886,641	8,416,597	37,470,044		30%	36,108,400	252,700,000
内訳	①地球温暖化府民活動推進事業	15,903,800	461,097	15,442,703		30%	15,500,000	108,500,000
	②環境啓発イベント開催事業	9,175,000	0	9,175,000		30%	10,050,000	70,350,000
	③再エネ普及促進事業	11,464,200	2,611,859	8,852,341		30%	6,558,400	45,850,000
	④自然環境保全事業	9,343,641	5,343,641	4,000,000		30%	4,000,000	28,000,000
2	次世代環境担い手づくり事業	2,951,547	405,608	2,545,939		30%	3,900,000	27,300,000
内訳	①環境拠点等活用エコキッズ育成事業	1,944,824	368,768	1,576,056		30%	2,700,000	18,900,000
	②「WE DO KYOTO!」推進事業	1,006,723	36,840	969,883		30%	1,200,000	8,400,000
合計		48,838,188	8,822,205	40,015,983			40,008,400	280,000,000

## 4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	京都府域における温室効果ガス排出量を、2020年度までに1990年度比25%削減する。	
成果実績	-16.4%	※2018年度数値（最新）
目標値	-25.0%	
達成度	65.6%	

## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化府民活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 目的（各事項共通）

府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。

## 目標（各事項共通）

環境フェスティバルオンライン開催 特設サイトアクセス数3万件  
（地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体がオンラインで、活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）

## 2. 概要

各活動主体の連携や交流の核となる京都府地球温暖化防止活動推進センターを通じて、府民、各団体に対する情報提供、相談・助言、地域・団体の連携や取組を誘導するための事業等を実施することにより、府民、事業者、地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）、環境NGO、行政等、様々な活動主体が連携・協働して、地球温暖化防止に実効性のある取組が進むことを目指す。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・京都府環境を守り育てる条例
- ・京都府地球温暖化対策条例

## 4. 事業内容等

- （1）府民、事業者等に対する相談窓口の常設（相談対応）  
府民、事業者、学校、環境団体等からの相談に対し、活動のアドバイス、関連情報の提供、アドバイザー等の斡旋等を実施
- （2）インターネット等による情報の提供（情報提供）  
地球温暖化問題についての基本的な知識や最近の動向、家庭・事業所のできる取組の紹介、各団体が行う研修会などの取組、助成制度、京都府地球温暖化防止活動推進員等についてインターネット等を通じて情報を提供
- （3）親子温暖化教室の開催（環境学習）  
教室の開催を希望する小学校、地域等の依頼に応じ、親子温暖化教室を開催
- （4）地球温暖化防止活動推進員育成事業の実施  
推進員に情報やノウハウを伝え、もって地域活動を活性化させることを目的とし、推進員研修会を開催併せて、推進員の活動実績が向上するよう、推進員の活動に必要となる情報の提供や活動のための支援を実施
- （5）エコライフ推進事業
  - ① 省エネ相談所の開催  
多くの府民が集まるイベントや大型店舗等において省エネ相談所を開催
  - ② 夏休み省エネチャレンジ（エコ親子）  
家庭における地球温暖化対策の実践を促すため、夏休み期間中の「エコ親子」認定事業等を実施
  - ③ インターネット環境家計簿の運営管理  
インターネット環境家計簿を運営管理し、環境家計簿の普及を促進

令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化府民活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

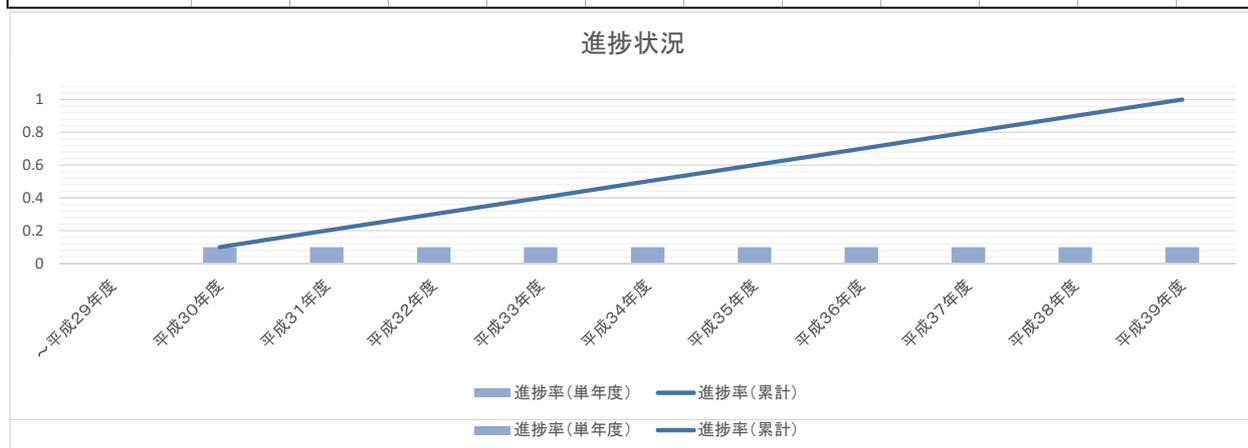
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託料	15,903,800	461,097	15,442,703	
合計	15,903,800	461,097	15,442,703	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		15,615	16,000	15,443	15,443	15,443	15,443	15,443	15,443	15,443	15,443
事業費(累計)		15,615	31,615	47,058	62,501	77,944	93,387	108,830	124,273	139,716	155,159

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)		10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境啓発イベント開催事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部府民環境総務課、地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 目的（各事項共通）

府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。

## 目標（各事項共通）

環境フェスティバルオンライン開催 特設サイトアクセス数3万件  
（地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体がオンラインで、活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）

## 2. 概要

府民の環境意識の向上、環境団体等の取組発表の場の提供や団体間の連携を図るためのイベントを開催する。  
また、環境保全に貢献されている著名人等によるシンポジウムを開催し、生活の質を高めながら、自然との共生や持続可能な社会の形成に向けた新たな価値観等を府民に提供する。

## 3. 根拠法令等

・京都府環境を守り育てる条例

## 4. 事業内容等

## (1) 京都環境フェスティバル

府内各地で活動する環境団体や学校、企業等の出展（R2実績：89団体）を得て、府民が環境問題や環境保全について楽しみながら学び考えることができる参加・体験型イベントを開催

令和元年度は、環境と府民のくらしをテーマに、環境にやさしい取組を考えるきっかけとして開催  
環境保全活動を行う団体や企業などの取り組みを学び、体験できる「展示・体験型ブース」や地元京都の食材を使った料理が味わえる「地産地消・エコグルメブース」の企画や未来を担う子どもたちが、楽しみながら環境について学べるロボットプログラミング教室やワークショップなどを実施

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてオンラインで開催

R1年度来場者数：約20,000人。

R2年度アクセス数：32,819件

## 実行委員会

京都府、京と地球の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター、（一社）京都知恵産業創造の森、京都府産業廃棄物協会、総合地球環境学研究所

## (2) 「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式及び京都環境文化学術フォーラム

「KYOTO地球環境の殿堂（主催：環境省、京都府等による実行委員会）」殿堂入り者等をパネリストに迎え、府民向けシンポジウムを開催

令和元年度は「未来につなげる－気候変動と地球の現在（いま）－」をテーマにパネルディスカッションを実施。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、開催を延期し、令和3年度秋に開催するべく、殿堂入り者の選考を実施

30年度来場者数：約900人

令和元年度来場者数：約900人

## 京都文化学術フォーラム実行委員会

京都府、京都市、京都大学、京都府立大学、総合地球環境学研究所、国際日本文化研究センター

## 「KYOTO地球環境の殿堂」実行委員会

京都府、京都市、京都商工会議所、環境省、総合地球環境学研究所、国立京都国際会館、国際高等研究所

令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境啓発イベント開催事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部府民環境総務課、地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

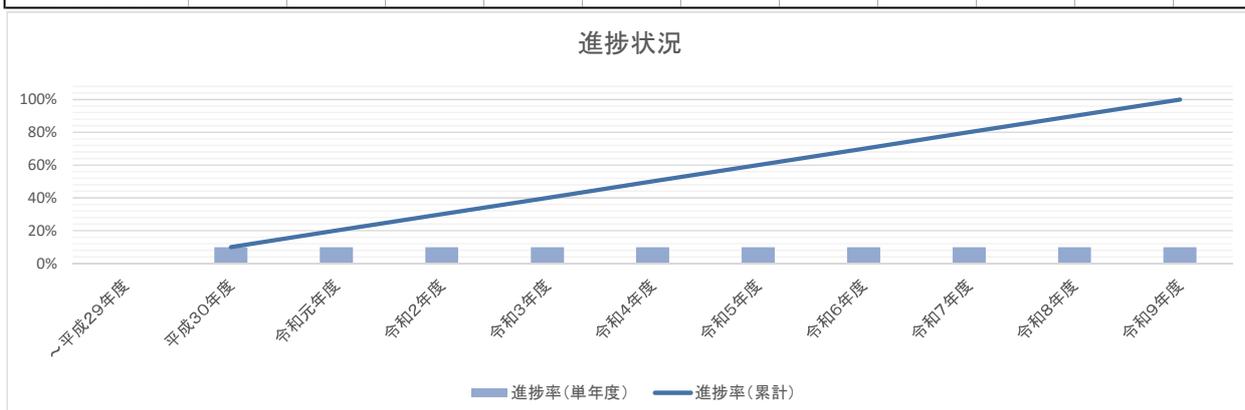
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
負担金	9,175,000	0	9,175,000	環境フェスティバル実行委員会等への負担金
合計	9,175,000	0	9,175,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		9,875	9,175	9,175	9,175	9,175	9,175	9,175	9,175	9,175	9,175
事業費(累計)		9,875	19,050	28,225	37,400	46,575	55,750	64,925	74,100	83,275	92,450

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)		10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	再エネ普及促進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部エネルギー政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 目的（各事項共通）

府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。

## 目標（各事項共通）

環境フェスティバル出展団体数 150団体  
（地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体が一堂に会し、活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）

## 2. 概要

府民に身近な家電店や工務店等の方を「京都再エネコンシェルジュ」に認証し、相談から施工までワンストップで対応できるようにすることにより、府民の再エネや省エネの理解を促進し、再生可能エネルギー設備の導入を促進する。

## 3. 根拠法令等

- ・京都府環境を守り育てる条例
- ・京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例

## 4. 事業内容等

## (1) 再エネコンシェルジュ研修・認証

府民の再エネ導入に関し、積極的かつ適切に提案を行うことができるよう、再エネに関する幅広い知識の取得のための研修（1回15人程度）、認証試験を実施し、合格者を認証

## (2) 再エネコンシェルジュ活動支援

府民の積極的なコンシェルジュの活用による再エネ導入促進に向け、以下の取組を実施

- ・コンシェルジュやこれを支援する専門家のネットワークの構築
- ・コンシェルジュに関する情報について、府民への浸透を図るべく、ホームページやチラシの作成、普及啓発イベントの開催や新聞やラジオ等のメディア掲載を実施
- ・担当課に再エネコンシェルジュに関する専用電話窓口を設け、府民からの意見等を聴取し、コンシェルジュへの指導を行うなど制度の信頼性を確保。苦情があった場合はコンシェルジュに対して指導をし、悪質な案件については認証を取り消す。

令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	再エネ普及促進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部エネルギー政策課	終了年度	令和9年度

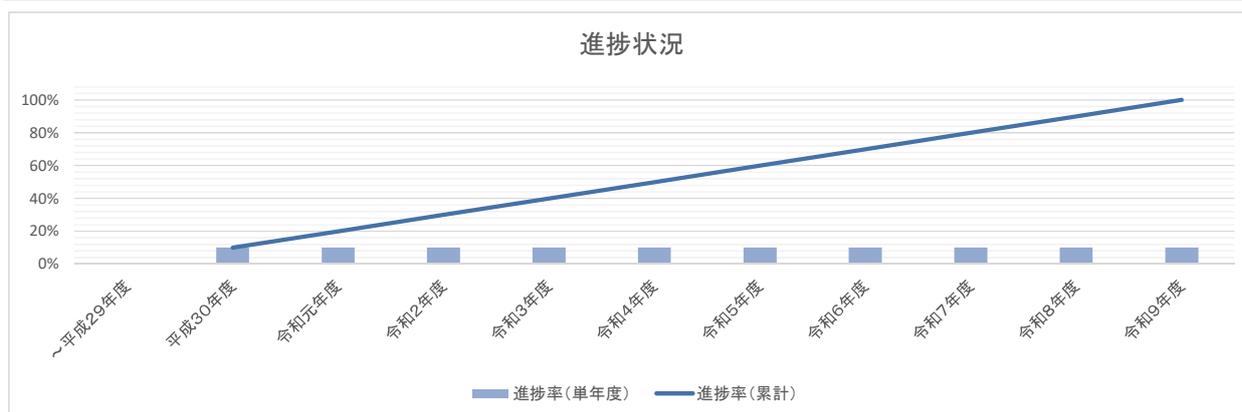
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託料	11,464,200	2,611,859	8,852,341	再エネコンシェルジュ研修や普及啓発事業の委託
合計	11,464,200	2,611,859	8,852,341	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		5,554	4,792	8,852	8,852	8,852	8,852	8,852	8,852	8,852	8,852
事業費(累計)		5,554	10,346	19,198	28,050	36,902	45,754	54,606	63,458	72,310	81,162

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)		10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部自然環境保全課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 目的（各事項共通）

府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。

## 目標（各事項共通）

環境フェスティバル出展団体数 150団体  
（地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体が一堂に会し、活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）

## 2. 概要

京都の悠久の歴史と文化のなかで育まれた独自の生物多様性を未来へと伝えるため、京都府生物多様性地域戦略に基づく各種取組のうち、地域住民による保全活動や府民への保全意識の啓発事業を実施する。

## 3. 根拠法令等

- ・京都府環境を守り育てる条例
- ・京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例

## 4. 事業内容等

## (1) 保全回復府民協働事業

条例で指定している希少野生生物の保全を行う地域団体の活動支援や調査を実施

- ・外部有識者の助言や講演等の謝金、旅費
- ・専門的知識や特別な技能・資格が必要な調査等の委託
- ・啓発資料作成や会場使用料等

活動支援団体（予定）：4団体3種（アユモドキ、ベニバナヤマシャクヤク、オグラコウホネ）

## (2) 外来生物対策事業

外来生物のモニタリングや防除により、侵入、定着、拡大を防ぎ、生態系への影響を抑制

- ・外来種の第一発見者となる可能性が高い企業や府民の通報を促すため、外来種データブック等により周知を図る。
- ・地域団体や府民と協働して集中防除を実施

令和2年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部自然環境保全課	終了年度	令和9年度

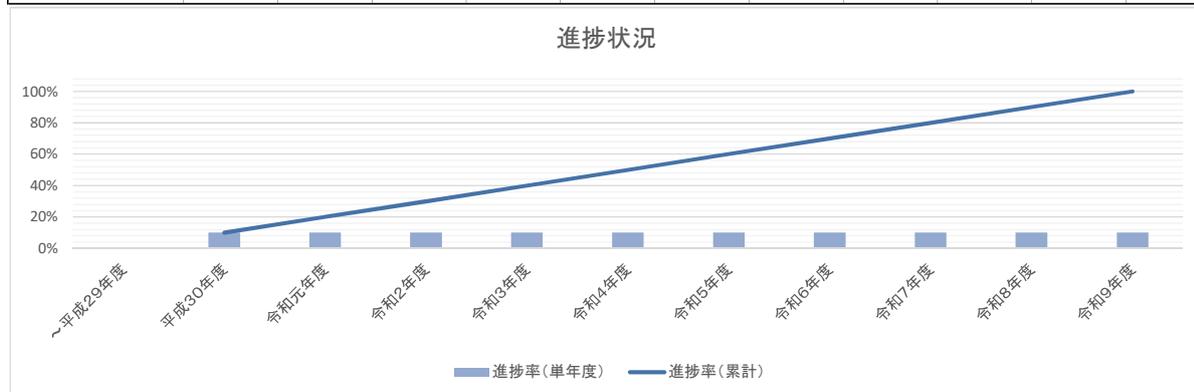
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	4,161,000	1,950,000	2,211,000	保全団体
報償費	150,000	150,000	0	研修講師
旅費	20,000	20,000	0	研修講師
需用費	10,000	10,000	0	チラシ印刷等
役務費	30,000	30,000	0	郵送等
委託料	4,972,641	3,183,641	1,789,000	駆除活動の運営委託 調査委託
使用料	0	0	0	講習会会場等
合計	9,343,641	5,343,641	4,000,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		4,342	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事業費 (累計)		4,342	8,342	12,342	16,342	20,342	24,342	28,342	32,342	36,342	40,342

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)		10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	次世代環境担い手づくり事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境拠点等活用エコキッズ育成事業	開始年度	平成30年度
担当部署	エネルギー政策課・地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 目的（各事項共通）

次代を担う子どもたちに対する環境教育を実施することにより、中長期的な視点での環境保全の担い手を育成する。

## 目標（各事項共通）

環境学習プログラム延べ参加者数 6000人

## 2. 概要

丹後海と星の見える丘公園やけいはんなe2未来まなびパークといった府立施設を活用し、大学や府内民間企業、環境NPO等と連携した環境学習を実施することで、時代を担う子どもたちにエネルギーを巡る諸課題に対する体験的な学習の場を提供するとともに、環境・エネルギー問題への関心を高め、自然と共生できる環境人材の育成を目指す。

## 3. 根拠法令等

- ・京都府環境を守り育てる条例
- ・京都府地球温暖化対策条例
- ・京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例

## 4. 事業内容等

- (1) 南部環境拠点エコキッズ育成事業（R2実績：参加者77人）  
省エネや地球温暖化問題、地球環境にやさしい再生可能エネルギーの大切さについて、体験しながら学べる場である「けいはんなe2（イー）未来まなびパーク」を活用し、夏休み等に地域や家族で参加できるワークショップ等を開催
- (2) 北部環境拠点エコキッズ育成事業（R2実績：参加者31人）  
丹後海と星の見える丘公園の再エネ設備（太陽光、太陽熱、バイオマス、小水力等）を活用した再エネ・省エネ講座や発電を利用した工作教室を実施するとともに、府中北部地域の再エネ設備（太鼓山風力発電所や大野ダムなど）を巡るエコエネルギーツアー等を開催  
ホームページやチラシ等で参加者を募集し、小学生以上の親子100組程度の参加見込み。
- (3) 大学等連携環境学習（R2実績：参加者142人）  
大学や府内民間企業、環境NPO等と連携し、京都の暮らし・文化・自然・歴史を学び、体感できる環境学習の実施  
令和元年度は「文化環境」をテーマに、秋から冬にかけて実施した計8回のプログラムには、小学生親子が参加し、毎回定員を増やしてもキャンセル待ちを頂くなど盛況。プログラムには「演劇的手法」を取り入れ、人類学者や大学の教育学の先生たちが協働。  
令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計8回のプログラムをオンラインで実施。プログラムには「演劇的手法」を取り入れ、人類学者や大学教育学の先生たちが協働。

令和2年度 事業報告書

事業名	次世代環境担い手づくり事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境拠点等活用エコキッズ育成事業	開始年度	平成30年度
担当部署	エネルギー政策課・地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

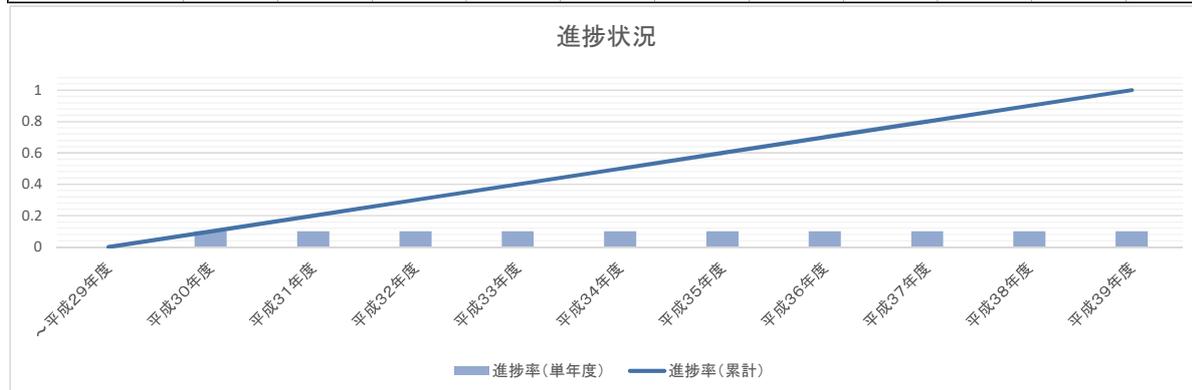
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0	0	0	研修講師
需用費	140,000	140,000	0	環境学習教材購入・パンフレット作成
委託料	1,804,824	228,768	1,576,056	環境学習・ツアー委託料
負担金	0	0	0	共益費等施設維持管理費
合計	1,944,824	368,768	1,576,056	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		3,504	3,260	1,576	1,576	1,576	1,576	1,576	1,576	1,576	1,576
事業費 (累計)	0	3,504	6,764	8,340	9,916	11,492	13,068	14,644	16,220	17,796	19,372

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和2年度 事業報告書

事業名	次世代環境担い手づくり事業	新規・継続区分	継続
事項名	「WE DO KYOTO！」推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p><b>目的（各事項共通）</b> 次代を担う子どもたちに対する環境教育を実施することにより、中長期的な視点での環境保全の担い手を育成する。</p> <p><b>目標（各事項共通）</b> 環境学習プログラム延べ参加者数 6000人</p>
--

2. 概要

<p>次代を担う若者や子供たちの環境人材としての育成に力点を置いた取組を実施するとともに、「DO YOU KYOTO?（環境に良いことしてますか?）」に対し、「WE DO KYOTO!（もちろんやっています!）」として取組を展開することにより、「脱炭素社会」の実現に向けた気運の一層の盛り上げを図る。</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府環境を守り育てる条例</li> <li>・京都府地球温暖化対策条例</li> </ul>
---

4. 事業内容等

<p>(1) 子供向け啓発事業 小学生等家庭部門に、気候変動に関する啓発資材等作成・配布し啓発を実施。</p> <p>(2) ユースサポーターズ会議 府主催の環境啓発イベント等の運営を補助するボランティアとして委嘱しているユースサポーターが、主体的に環境保全活動に取り組めるよう、ユースサポーター発案のイベント等への支援を実施</p> <p>(3) 環境を守り育てる京都づくり推進事業 パリ協定が目指す「脱炭素社会」実現の担い手となる子ども達の環境意識の一層の向上を図るため、環境学習を企画・実施される方への情報提供に力点を置いたWebサイトを運営。環境学習の取組を支援。</p> <p>(4) 高校生による気候変動サミット 府内高校生がオンラインで参加し、ゼロカーボン社会の実現に向けたユニークな取組や計画「半径Xkmの気候アクション」を発表し、専門家を交えて議論。その様子を京都環境フェスティバル（オンライン開催）で発信</p>
--

令和2年度 事業報告書

事業名	次世代環境担い手づくり事業	新規・継続区分	継続
事項名	「WE DO KYOTO！」推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
研修	94,000	11000	83,000	研修講師謝金
旅費	25,840	25,840	0	ユースサポーター等旅費
需用費	0	0	0	啓発グッズ作成費
使用料	35,288	0	35,288	会場借り上げ費用
委託料	851,595	0	851,595	啓発事業等委託料
合計	1,006,723	36,840	969,883	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,178	2,000	970	970	970	970	970	970	970	970
事業費(累計)	0	1,178	3,178	4,148	5,118	6,088	7,058	8,028	8,998	9,968	10,938

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%

